



交番 警官撃たれ死亡

19歳同僚関与か 行方追う

滋賀・彦根

11日午後8時45分ごろ、滋賀県彦根市南川瀬町の河瀬駅前交番で警察官から「人が倒れている」と119

番があった。同交番に勤務にする井本光巡查部長(41)が撃たれて負傷しており、彦根市内の病院に搬送されたが、死亡。同僚の巡查の男(19)の行方が分かっておらず、滋賀県警が行方を捜している。県警は巡查が拳銃で撃った疑いがあるとして、殺人容疑で逮捕状請求の手続きに入った。拳銃は見つかっていないという。

県警によると、約30分前のこの日午後8時15分ごろ、同交番から南東に4・3キロ離れた同県愛荘町目加田で、彦根署河瀬駅前交番のパトカーが田んぼに突っ込んでいたのを男性が発見して110番があった。県警東近江署員が駆け付けて調べたところ、河瀬駅前交番のパトカーと判明し、同交番に向かったところ、倒れている井本巡查部長を見つけたという。県警は行方が分かっていない巡查が発見されたパトカーで逃走した可能性があるとみて調べている。

現場となった河瀬駅前交番は、JR東海道線河瀬駅前であり、商店や住宅、ビルなどが立ち並ぶ地域。井本巡查部長と行方が分からなくなっている巡查ともう1人の3人で24時間態勢で勤務をしていた。



発砲事件があったJR河瀬駅前交番。正面入り口はブルーシートがかけられた—11日午後11時13分、滋賀県彦根市

